

朝の来ない夜はナイト。

施工合理化できるのには理由が

<Speedy>

堤体横継目の形成にSSSフォームレスを登用することで、隣接ブロック間の打設順序にからむ制約が解消され、堤体を面上に仕上げ横一線に立ち上げてゆくことができる。

したがって、打設関連作業が合理化され工期短縮が図れる（下図参照）。

<Safety>

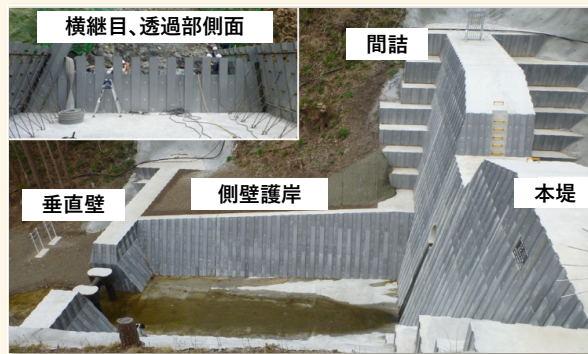
SSSフォームレスの壁面パネルは千鳥に配置され、先行するパネルが転落防止柵の役回りを兼ねていることから、作業環境が格段に改善される。

<Saving>

既存のコンクリート系残存型枠に比べて圧倒的に軽く、しかも嵌合式。

熟練技術も必要なく人力による運搬・組立てが容易なため組立てが速く、工期短縮や作業環境の改善策に付随するコスト縮減効果が期待できる。

なお、クレーンを常時現場にとどめておく必要のないこともコスト縮減につながる。さらには切断加工が容易なため本堤以外にも自在に対応できること、廃材を削減でき、環境にやさしいといった利点があります。



すべての部位に使用可能



リフト割計画 (例)

横継目の形成にSSSフォームレスを登用し、リフト高を抑えて横一線に立ち上げることで、養生日数が短くて済み工期短縮が図れる。

